

宮城大学大学院看護学研究科博士後期課程の設置認可について

平成21年10月30日、文部科学大臣より、宮城大学大学院看護学研究科博士後期課程の設置が認可されました。

つきましては、皆さまにその概要について次のとおりお知らせします。

1 開設年月日

平成22年4月1日(宮城県初の看護学博士の養成機関)

2 設置の趣旨

医療の高度化、疾病構造の変化、地域医療格差の問題などを背景として、人々の生涯にわたる健康を保持・増進していくことが求められています。そこで、「生涯健康支援看護学」分野を柱とする博士後期課程を設置し、高度な専門的知識に根ざした看護支援方法を研究・開発、推進していくことを通して、宮城県及び東北地方における看護学の教育研究拠点としての役割を果たし、地域社会に貢献していくものです。

3 養成する人材像

- (1) 地域の保健医療機関や自治体等において看護実践現場の改革を推進する指導者として活躍できる高度看護実践指導者。
- (2) 全国的に不足している看護系大学及び大学院の教員として活躍できる看護教育研究者。

4 研究指導体制

現看護学教員6名を含む7名の博士論文主指導教員のほか、11名の副指導教員を配置します。個別指導と並行して集団的指導体制をとり、数次の発表会を設けて段階的に研究を進めます。

5 修業年限

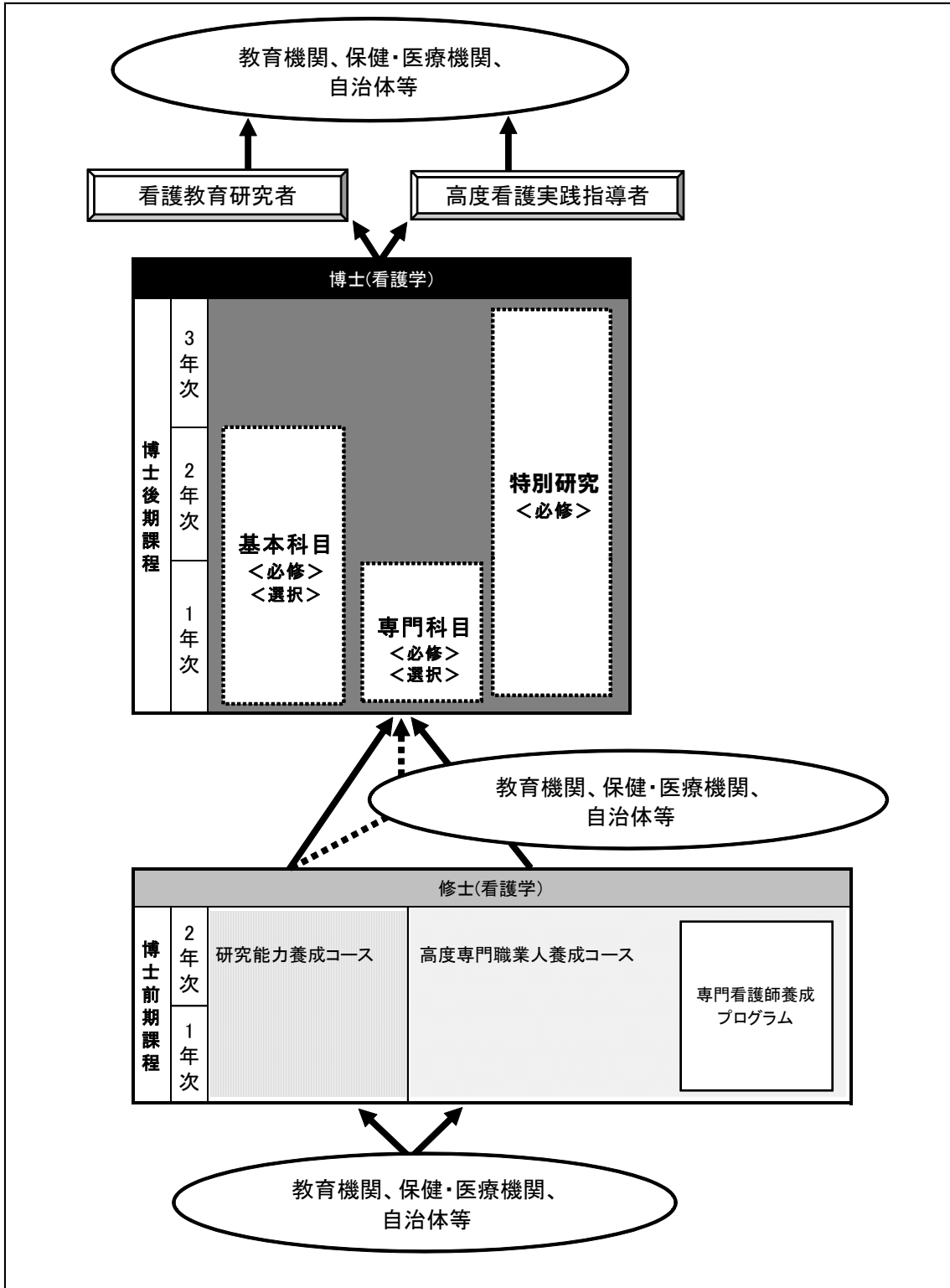
標準修業年限は3年ですが、5年を超えない範囲で計画的にまた、授業料も標準修業年限の総額と同額で履修できる「長期履修」制度があります。

6 入学試験等

本学及び他大学の大学院修士課程からの進学とともに、現職の看護専門職の方々の入学を期待しています。平成22年度入学者選抜の予定は以下のとおりです。

- (1) 入学定員 3名
- (2) 選抜方法 専門科目及び英語の学力試験(筆記)と面接
- (3) 試験日 平成22年2月6日(土)予定
- (4) 募集要項 平成21年11月下旬～12月上旬配付予定

看護学研究科博士課程概念図



博士前期課程(現修士課程)と博士後期課程との関連図

